れんめい和歌山

新春号 -年賀会特集-

第 54 号
発行者
和 歌 山 県 看 護 連 盟
和歌山市太田 4-11-18
リベラルパレス太田 501
電話　073-488-6575
FAX　073-488-6580
発行責任者
松浦　三代

CONTENTS

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2・3・4・5・6・7・8
和歌山県看護連盟年賀会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
連盟からのお知らせ・編集後記、その他・・・・・・・・・・・・・・・ 16

和歌山県看護連盟会長　松浦　三代

「れんめい和歌山 54 号（新春号）～年賀会特集～」発行にあたりご挨拶申し上げます。

はじめに、昨年７月の第 24 回参議院選挙では、日本看護連盟組織代表候補者の高階恵美子議員を皆様のお力で２期目の国政に送り出すことができました。心よりお礼申し上げます。

当選という喜ばしい結果ではございましたが、和歌山県看護連盟としては、目標の得票数を獲得することができませんでした。この結果を真摯に受け止め、検証し、次回の選挙では、より良い結果が得られるよう、効果的な連盟活動をしていきたいと思います。

11 月に東京で、全国会長・幹事長・支部長会議があり、いろいろな意見が出ました。しかし、後ろばかり振り返っていても仕方がないと感じる事がありました。

それは、その会議で、草間会長が、赤色のジャケットを着用されておられたことです。

７月までは、いつも高階恵美子カラーのブルーを着用されていたのですが、その日は、石田昌宏カラーの赤色を着用されていました。すでに、平成 31 年７月の第 25 回参議院選挙に向け、シフトチェンジされていたのです。

12 月には、日本看護連盟推薦委員会より、次回参議院選挙への組織代表候補者推薦依頼が来ました。12 月の県役員・関する委員合同会議で検討し、満場一致で石田昌宏議員の推薦を決め、本部に報告いたしました。

組織代表候補者予定者が決定するのは、今年６月の日本看護連盟通常総会です。今回の選挙を総括し、いつもより１年早く組織代表候補予定者を決定し、活動期間を２年にするという方針を草間会長が打ち出されました。和歌山県看護連盟もその方針に沿って、組織代表候補予定者のトップ当選を目指し、「ベッドサイドから政治を変える！」をスローガンに掲げ、２年６カ月活動してまいります。

和歌山県看護連盟の会員数は、１月１日現在、1535 名です。20 歳代が 458 名、30 歳代が 321 名、40 歳代が 365 名、50 歳代が 349 名、60 歳代が 33 名、70 歳以上が９名です。20・30 歳代が 50.7%、40・50 歳代が 46.5%、60 歳以上が 2.7%です。

多くの若い世代の会員が、連盟活動に積極的になれるサポートとして、今年から全ての支部に青年部を作り、その代表が集まって主体的に活動ができるよう計画しています。また、積極的に連盟活動を行ってくださっている 60 歳以上の会員数を増すため、特別会員の制度を広くアナウンスするようにして行きます。

今回、和歌山県選出の自民党の国会議員の先生方よりメッセージを頂戴し掲載させていただくことができました。和歌山県看護連盟が自民党の支部組織であることを会員の皆様にご理解いただける機会になるのではないかと考え、お願いいたしました。ご公務が多忙な中、メッセージをお届けくださいました先生に、心よりお礼申し上げます。

今年も和歌山県看護連盟は、元気に明るく、役員、委員、会員が、心を一つに一丸となって活動して行きたいと思います。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本看護連盟会長　草間 朋子

立春も迎え、梅の蕾もほころび、ヒガンザクラの便りも聴かれ、春の訪れを実感する今日この頃です。

2025 年問題への対応に向けて医療界も着実、かつ、急速に変化しております。医療改革の多くが地方行政に委ねられることになり、すでに各都道府県からは医療構想ビジョンが示されつつあります。各都道府県の医療構想ビジョンを検討する医療構想調整会議等には、看護協会の代表も参加できる仕組が、日本看護連盟の働きかけによりできました。一方、2018 年の診療報酬・介護報酬の同時改定の検討はすでに始まっております。グローバルな視点からの医療改革は、診療報酬により大きな影響を受けます。2025 年に向けての「支える医療」を担うのは看護職です。今回の診療報酬の改定に向かって看護職の声をしっかり届けてまいりましょう。「ベッドサイドから政治を変える」この素晴らしいスローガンを一歩一歩実現していくことが、連盟の使命です。現場からしっかり声をあげていきましょう。

自由民主党幹事長 衆議院議員　二階 俊博

和歌山県看護連盟の皆様、平素より県民の保健医療向上に多大なる貢献くださいますことに、敬意を表するとともに、改めて感謝申し上げます。また、私の母の妹も長年看護職の立場で、世代を超えた皆様の仲間として地域医療の現場に携わることが出来たことを誇りに思うものであります。

２月を迎え、県内各地に可憐な梅の花を見る時節となりました。梅は和歌山の県花です。まだ寒さ厳しき中に蕾を膨らませる梅の花は、「忍耐と溌剌」とを内包し、まさに和歌山県看護連盟を思わせる花です。

これからの医療福祉の柱である地域包括ケアにおいて、看護職の皆様が中心の担い手であることは言を俟ちません。病気になっても県民が安心して住み慣れた故郷で暮らし続けることができればこそ、一億総活躍社会が実現できるのです。皆様方の活躍に、大いに期待しています。春の足音はすぐそこまで近づいています。同様に、皆様が溌剌として仕事に取り組んでいただけましたなら、日本社会全体が春を実感するということになりましょう。その為に、私も力を尽くす覚悟であります。共に手と手を取り合って頑張りましょう。

結びに当り、和歌山県看護連盟のますますのご発展と、会員各位のご健勝を祈念いたします。

衆議院議員　石田 真敏

和歌山県看護連盟の皆様、新年明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、政府は「第４次産業革命」と「SOCIETY5.0」という新しい時代の概念を発表しました。医療や社会福祉の分野においても、新しい技術の活用など対応していくことが必要です。皆様にアンテナ高く対応いただくと同時に、私も国政の場より微力を尽くして参ります。

また、団塊の世代が後期高齢者となる二〇二五年問題など、超高齢化社会の大きな課題が指摘される中、皆様の役割は非常に大きく、一層の期待が寄せられています。日々の活動を通じた貴重な現場の声などが、課題解決の重要な鍵となるだけに、皆様の益々のご活躍をご期待申し上げます。

皆様の今年のお幸せを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

経済産業大臣兼ロシア経済分野協力担当大臣 参議院議員　世耕 弘成

平成 29 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年８月、史上最長となった３年７ヶ月の内閣官房副長官としての職務を終えると同時に、第３次安倍第２次改造内閣の経済産業大臣に就任いたしました。アベノミクスを和歌山県の隅々まで行き渡らせ、また海外に売り込んでいくべく、国内外を駆け回ってまいります。

看護職は、医療や介護を受けられる方々にとって、最も身近な存在であり、心の支えとなっています。医療や介護を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、「チーム医療のキーパーソン」として、活躍する皆様方に深甚なる敬意と謝意を表します。連盟の皆様方は、現場の生の声を私達に届けていただいています。「ベッドサイドから政治を変える」という力強いスローガンのとおり、更なる活躍を期待しています。

最後になりましたが、本年が和歌山県看護連盟の皆様方にとって、健やかで幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

内閣府特命担当大臣 参議院議員　鶴保 庸介

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年夏の参議院選挙では、皆様方から絶大な御支援をいただき、４ 度目の当選をさせて頂くことができました。また、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策・科学技術政策・宇宙政策・クールジャパン戦略・知的財産戦略・IT 政策)を拝命し、議員生活 19 年目を迎え、大臣としてこれらの重要な政策課題に取り組むに当たり、今まで以上にその責任の重さを肌で感じております。内閣の一員として、それぞれの課題に対して真摯に取り組み、問題点を拾い上げ着実に一歩一歩進めてまいります。

一方で、大臣就任以前より取り組んでまいりました施策については、しっかりと芽が出てきたものもあります。近畿自動車道紀勢線の延伸と４車線化、京奈和や第二阪和道路などのインフラ整備、インバウンド、中古住宅市場活性化、鳥獣被害対策、防災対策など挙げればきりがありませんが、その中で私が特に注力してきた民泊については大詰めを迎えつつあります。これを地方再生の柱の一つとして少しでも使い勝手の良い制度にし、皆様方が大いに活用できるよう力を尽くしてまいります。

４期目を迎え、これまで様々な仕事をさせていただくことができました。これもひとえに県民の多くの方々のお支えがあってこそであります。10 年先、100 年先の未来を思い描き、それらを形あるものにしていく、それこそが私を選んでくださった皆様の負託に応えるものであると考えております。

結びに、和歌山県看護連盟の益々のご発展と、今年一年が皆様にとりまして飛躍の年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

衆議院議員　門 博文

新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さてまずは昨年、夏の参議院選挙において高階恵美子先生のご当選、誠におめでとうございました。「ベッドサイドから政治を変える！」との皆様の目的を実現していくためのリーダーとして今後もご活躍をお祈りいたします。そして次の参議院選挙は石田昌宏先生の順番となりますが「青」から「赤」へと勝負カラーを変えて決戦に向けて皆様の次なるお取組みに心からご期待を申し上げます。

高齢化が更に進む今後の日本において医療の現場とりわけ看護職の皆様への期待は大きくなるばかりです。その重責に応えて働いて下さる皆様の職場の環境や労働条件そして医療の現場の様々な課題解決に向けて微力ではありますが私も共に取り組まさせて頂く決意です。

本年もしっかり頑張ります。

衆議院議員　あべ 俊子

和歌山県看護連盟の皆さまには日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、全国の看護連盟の皆さまの力添えのおかげで、たかがい恵美子先生が２期目の当選を果たし、国政での看護の議席を堅守できた喜ばしい年となりました。

国民の安全と安心を守る医療体制は今、大きな転換期を迎えています。現在開催中の第 193 回通常国会では、来年４月の診療報酬・介護報酬同時改定に向けた議論を進めております。医療や看護や介護が抱える課題について、また、看護職の皆さまが快適に働くことができる環境づくりのため、その制度の充実に向けて力を注いでまいります。

また自民党副幹事長としては、党務を取り仕切る二階俊博幹事長の下、自然災害の復興支援、ふるさと対話(地方の生の声を聞かせていただくプロジェクト)のほか、女性活躍推進や農林水産振興のための取り組みを担当しています。

今後も皆さまの現場の声をお聞かせいただきながら国政に努めてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

参議院議員　たかがい 恵美子

謹賀新年　和歌山県看護連盟の皆さまこんにちは。丁酉の 2017 年は、直感力と行動力を磨いて運気を取り込み‘いのち(人生)の実り’について、改めて考えたいと思っています。

ひとの生きる力を守り支える看護のパワーを存分に活かせる社会づくりを進めたい。そのために今、私たちは自らの知識･技術･経験を総動員して、諸般の労働法制の改革に取り組んでいかなければなりません。

これからの数年間は、従来の予想を超える多様な医療需要の増加と供給市場の拡大が急速に進むと見込まれます。変化を座して待つのではなく、プロの目利きで時代を先取りする攻めの姿勢で挑みたいものです。

また、2015 年に始動した我が国の女性の健康科学については、十分な学術基盤が醸成されるように、2016 年に始動した「幸齢社会への挑戦‘ハッピープラチナ運動は、順調に各所での事業が充実するように、引き続き力を注いで参ります。

さらに２期連続の自民党女性局長として､７つの重点政策の一層の推進と女性議員の育成と政治力向上の体制整備にも取り組みます。

本年も、看護職の誇りを胸に鋭意努力する所存です。みなさまのますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げます。

参議院議員　石田 昌宏

和山県看護連盟のみなさま、日頃お力添えを賜りありがとうございます。

１月 20 日に第 193 回通常国会が始まりました。会期は約 150 日間です。まずは、補正予算と新年度予算の成立のための議論が行われます。

今国会においては、引き続き社会保障制度改革の議論が進められていきます。「ニッポン一億総活躍プラン」の新三本の矢として、「第１の矢　希望を生み出す強い経済」、「第２の矢　夢をつむぐ子育て支援」、「第３の矢　安心につながる社会保障」が放たれる中、2018 年の診療報酬、介護報酬同時改定に向け、今年は大きな山場を迎える年です。地域包括ケアの中心的役割を期待されている私たち看護職が「良い看護ができた」と実感できることは、国民の皆様ひとりひとりが安心して暮らせる社会の必要条件だと思います。

昨年の臨時国会で議院運営委員会理事を拝命し、全省庁の窓口となって議会運営に携わっています。この経験を、看護政策遂行に生かしていきます。

看護の現場の明るさは、日本の元気のバロメーターだという信念で国政に取り組んで参ります。今年も皆様とともに手を携え歩んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

衆議院議員　木村 弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

初当選から２年、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。特別養子縁組のあっせんに関する法案では、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児に対する教育・医療・福祉の連携した支援体制の構築に力を注ぎました。

昨年３月には、稲田朋美先生からの推薦により待機児童問題等緊急対策特命チームの座長に就任。

ここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があってこそです。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。そして、光の当たらぬところにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひ木村の紹介をお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

＜木村弥生議員を応援しよう＞

日本看護連盟組織代表の国会議員は、現在４名です。衆議院議員　阿部俊子議員、参議院議員　高階恵美子議員、参議院議員　石田昌宏議員、衆議院議員　木村弥生議員です。

木村弥生議員は、現在、北関東ブロック選出ですが、次の衆議院選挙では、京都３区より立候補を予定しております。京都３区とは、伏見区、向日市、長岡京市、大山崎町です。お知り合いの方がおられましたら、是非、木村弥生議員へのご支援をお願いします。

木村弥生議員は、京都３区選挙区で当選を目指し活動されておられます。私たち和歌山県看護連盟も木村議員の支援ができます。衆議院選挙は、参議院選挙とは違い、私たちが、和歌山県で、二階俊博先生、石田真敏先生、門　博文先生の支援を行えば、近畿ブロックとして木村弥生議員を支援することになります。次の衆議院選挙では、必ず、近畿ブロックから組織代表の国会議員を選出できるようにしましょう。

平成 29 年和歌山県看護連盟年賀会

平成 29 年 1 月 22 日（日）11：00～14：00、和歌山市のホテルグランヴィア和歌山に於いて、盛大に開催されました。参加者は来賓 30 名、会員 91 名の 121 名でした。

＜来賓の皆様＞

和歌山県知事 仁坂吉伸様、衆議院議員 石田真敏様、衆議院議員 門 博文様
和歌山県議会議長 浅井修一郎様、和歌山市長 尾花正啓様
和歌山県議会議員：井出益弘様、中村裕一様、新島 雄様、岸本 健様、濱口太史様
森　礼子様、鈴木太雄様、尾﨑太郎様、立谷誠一様、泉 正徳様
中本浩精様、堀 龍雄様、中西峰雄様、川畑哲哉様
和歌山市議会議員：井上直樹様、丹羽直子様、中谷謙二様
海南市議会議員 米原耕司様、有田川町議会副議長 岡 省吾様、かつらぎ町議会議員 福井強太様
自民党幹事長 衆議院議員 二階俊博様代理 二階俊樹様、経済産業大臣 参議院議員 世耕弘成様代理
小崎 勝様、内閣府特命担当大臣 参議院議員 鶴保庸介様代理 鈴木彬人様、参議院議員 石田昌宏様
代理 五反分正彦様、日本看護連盟会長 草間朋子様

＜会員＞

和歌山県看護協会長、日本看護連盟名誉会員２名
紀北支部３名、那賀支部４名、和歌山第１支部７名、和歌山第２支部 19 名、和歌山第３支部 16 名、海南海草支部 11 名、有田支部５名、日高支部９名、紀南支部７名、三役

年賀会に参加して　日高支部長 大川 和代

開会挨拶で松浦会長は、昨年７月の第 24 回参議院選挙で日本看護連盟組織代表候補者のたかがい恵美子議員の当選と、次回、第 25 回参議院選挙に向けて、和歌山県は 12 月の県役員・関する委員合同会ｓ議で、石田昌宏議員の推薦を決定し、本部に提出したことを報告しました。和歌山県はこれから２年６ か月、「ベッドサイドから政治を変える！」をスローガンに石田昌宏カラーの「赤色」でトップ当選を目指し活動することを発信しました。

続いて、日本看護連盟会長　草間朋子様、和歌山県知事　仁坂吉伸様、衆議院議員　石田真敏様、衆議院議員　門　博文様、和歌山県議会議長　浅井修一郎様、和歌山市長　尾花正啓様が来賓を代表して挨拶されました。組織代表国会議員は、公務のため出席できず、代表して、参議院議員　石田昌宏議員がビデオレターで挨拶され、安全で安心の医療・看護が提供できるように看護職の働く環境の整備に努めることを話されました。

和歌山県看護協会長　古川紀子様の乾杯の挨拶の後、支部ごとに、地元選出の県議会議員の先生、市・町議会議員の先生と、支部の施設管理者様、看護部長様をはじめ会員の皆様と一緒に、看護職の働く環境や医療の現状について、しっかり意見交換しました。

支部長としての私は、アンテナを高くし、課題を拾い上げ、組織代表の国会議員の先生方の力を借り、課題解決に向けて、努力と、忍耐と、創意工夫をもって取り組んでいかなければならないと感じています。そして、看護政策実現に向けた力強い集票力のある連盟支部組織となれるように会員増員に努めてまいります。

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀会

和歌山県看護連盟年賀会

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀会

和歌山県看護連盟年賀会

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀会
和歌山県看護連盟

和歌山県看護連盟

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀会
和歌山県看護連盟

石田まさひろ

石田まさひろ

石田まさひろ

平成２９年
県看護連盟年賀会

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀会

和歌山県看護連盟

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀

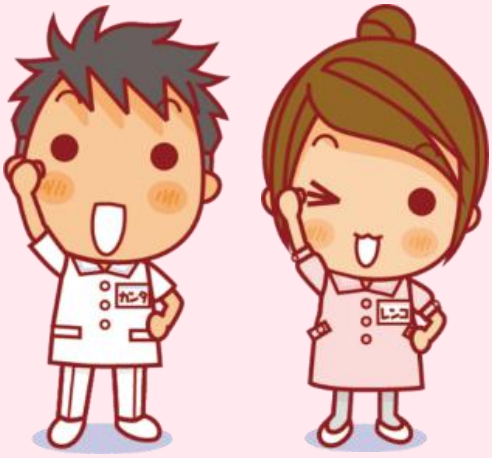
和歌山県看護連盟

看護の力が日本を元気にする
石田まさみ

平成２９年
和歌山県看護連盟年賀会

第 24 回参議院議員選挙後の 10 月 7 日、高階恵美子議員が県役員・関する委員合同会議に合わせて来県して下さいました。

和歌山県看護連盟事務所にて



自民党和歌山県連にて(湯峯事務局長様と)

連盟からのお知らせ

平成 29 年度　連盟会員　入会受付中！

年会費

日本看護連盟会費	5,000 円
和歌山県看護連盟会費	3,000 円
計	8,000 円

平成２９年度日本看護連盟通常総会

開催日：平成 29 年６月 15 日(木)

平成２９年度和歌山県看護連盟通常総会

開催日：平成 29 年６月 25 日(日)

編集後記

今年で３回目となった「和歌山県看護連盟年賀会」に、多くの来賓の皆様、会員の皆様にご出席いただき誠にありがとうございました。今号は新春号ですが、盛会となった年賀会を特集するため、２月発行とさせていただきました。また、今号では、機関誌発行以来初めて、和歌山県選出（自民党）の国会議員の先生方にメッセージを頂戴いたしました。ご多忙の中、本当にありがとうございました。

広報委員一同

東洋羽毛の 無料!!
コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

どんな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。

東洋羽毛関西販売株式会社
大阪府吹田市垂水町3-8-12

フリーコール 0120-88-2104　お気軽に御利用ください。